

ANNUAL REPORT 2020

業務のご案内



小倉城とリバーウォーク北九州



皿倉山からの夜景



あなたと共感、ハーモニー・バンク
福岡ひびき信用金庫

当金庫の概要

(令和2年3月31日現在)

設 立	大正13年1月
本店所在地	北九州市八幡東区尾倉2-8-1
出 資 金	34億52百万円
会 員 数	72,668人
役 職 員 数	604人
店 舗 数	45店舗（代理店1店舗を含む）
営 業 区 域	福岡県一円 山口県下関市 大分県中津市



経営理念

1. 地域社会の繁栄ある未来を希い、地域とともに歩みます。（地域繁栄、金庫共栄）
2. 健全経営と独自性発揮で、お取引先の要請に応えます。（健全経営、独自性発揮）
3. 知性を磨き、創意と工夫をもって活力ある信用金庫を築きます。（知性と創意で活力金庫）

基本方針

1. 地域の人々の幸福と繁栄を希い、地域の豊かな未来づくりを使命とします。
2. 健全経営をモットーに、お客様のニーズに素早く対応し信頼される金庫にします。
3. 日々、豊かな人間性の向上に努め、活力ある職場と職員の豊かな生活の実現に努めます。



C O N T E N T S

ごあいさつ	1	商品等のご案内・主な手数料一覧表	21
業績トピックス	2	店舗のご案内	26
地域社会とひびしん	4	リスク管理の体制	28
沿革	5	法令遵守（コンプライアンス）の体制	30
役員・組織図	6	金融ADR制度への対応・主要な事業の種類	31
トピックス	7	信金中央金庫のご紹介	32
中小企業の経営支援に関する取組み	10	資料編	33
地域活性化に対する取組み	15	※「資料編」の目次は33ページに掲載しております。	
魅力ある職場づくり	18	開示項目一覧	69
総代会等に関する事項	19		

ごあいさつ



会長
野村 廣美



理事長
井倉 眞

平素より福岡ひびき信用金庫をお引立て頂き、心より厚く御礼申し上げます。
本年も、ディスクロージャー誌「ANNUAL REPORT 2020業務のご案内」を作成致しました。当金庫の経営方針や業務の内容、業績などをご紹介致しておりますので、ご高覧頂き、当金庫へのご理解を一層深めて頂ければ幸甚に存じます。

令和1年度を振り返りますと、緩やかな回復基調を維持してきた我が国経済ですが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、その様相を一変させております。令和2年4月の政府月例経済報告では、景気について「急速に悪化しており、極めて厳しい状況にある」との発表がされました。もとより、当金庫のお取引先であります地域の中小零細企業におかれましては、従来の景気回復局面においても、人口減少や少子高齢化の影響により、市場の縮小、経営者の高齢化と後継者不在、人手不足等、多くの課題に直面し、厳しい経営環境に置かれてまいりました。コロナ禍の拡大により、当金庫は従来にも増して、地域を守り抜くという強い覚悟を持った取組みを行うことが必要になっております。

このような経済環境を背景に、令和1年度は中期経営計画「“Change Challenge Create”～100年金庫に向けて～」の2年目として、私ども“ひびしん”が目指す「地域に暮らす人々の心と生活を豊かにする」というミッションの実現に向け①生産性の向上、②人事施策の高度化、③安定した財務基盤、④価値の創造という4つの重点戦略に取り組んでまいりました。

その結果、令和1年度の当金庫の業績は経常収益15,617百万円（対前期比10.0%増）、経常費用14,633百万円（対前期比14.5%増）、経常利益984百万円（対前期比30.3%減）、当期純利益773百万円（対前期比18.5%減）となりました。

また、期末の自己資本比率は国内基準の4%を大きく上回る11.30%、不良債権比率は3.13%となりました。

これも偏に、会員の皆様方の平素よりのご支援の賜物と、深く感謝申し上げます。引続き、健全経営、経営基盤の一層の強化、地域社会の繁栄のため役職員一同専心して努めてまいります。今後ともなお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年6月29日

会長 野村 廣美

理事長 井倉 眞

業績トピックス

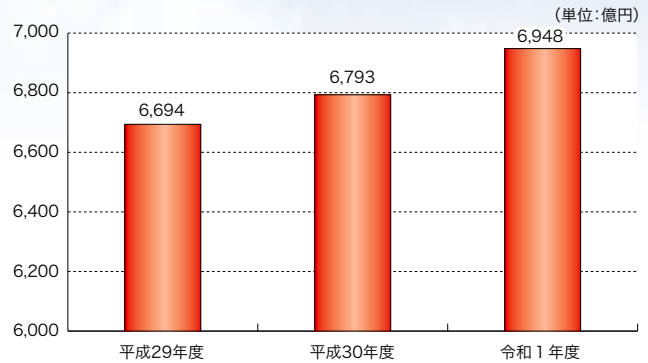
預金積金の推移

令和1年度は、夏期キャンペーンとして、新元号における第1号店舗開設を記念し「祝 令和第1号新店舗記念定期預金」を、冬期には従来より好評であった、懸賞金付定期預金「マネーヒット」を販売し、夏期・冬期合計で157億円を獲得致しました。相続等の影響により個人定期は減少したものの、法人定期が増加し、定期預金残高は前期比14億円の増加となりました。

また、要求性預金残高が154億円増加した一方、定期積金残高は13億円減少しました。

この結果、令和1年度の預金残高は、前年比154億円増加し6,948億円となりました。

預金積金残高 6,948億円



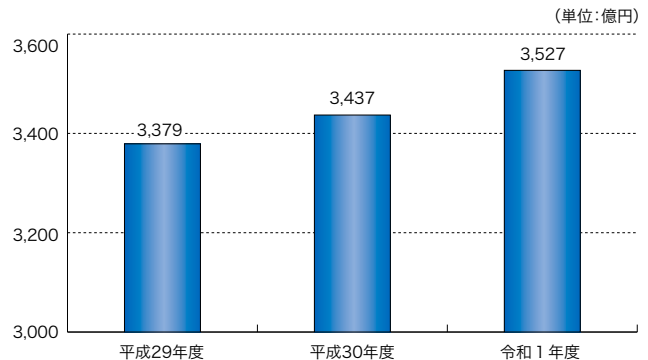
貸出金の推移

令和1年度は、昨年度に引き続き事業性融資と消費者ローンを中心に推進してまいりました。

事業性融資は新規の取引先の拡大などにより82億円増加。また、個人向け融資については消費者ローンがフリーローンを中心に7億円増加しましたが、住宅ローン獲得の鈍化等により、6億円の減少となりました。この他に、地方公共団体に対する貸出金が14億円増加しております。

その結果、貸出金残高は、前期比89億円増加の3,527億円となりました。

貸出金残高 3,527億円



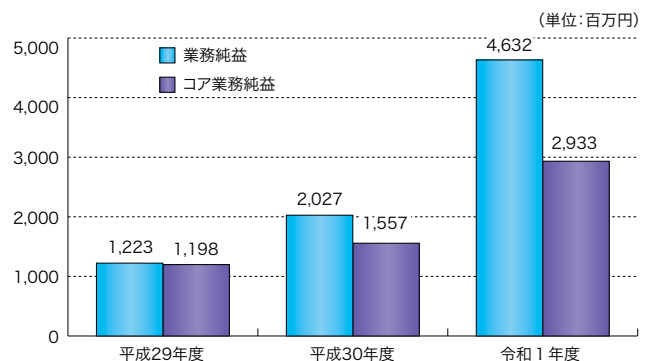
業務純益*1/コア業務純益*2の推移

貸出金利息収入や有価証券利息配当金の増加および国債等債券売却益の増加等により令和1年度の業務純益は前年比2,605百万円増加し、4,632百万円となりました。

また、業務純益から一般貸倒引当金繰入額や国債等債券関係損益を除いたコア業務純益は、前年比1,375百万円増加し、2,933百万円となりました。

業務純益 4,632百万円

コア業務純益 2,933百万円



*1 業務純益・・・貸出金や有価証券等の受入利息や手数料などの収入から、預金等の支払利息や支払手数料、経費を差し引いたものです。

*2 コア業務純益・・・業務純益から、一般貸倒引当金および国債等債券関係損益を除いたものです。

業績トピックス

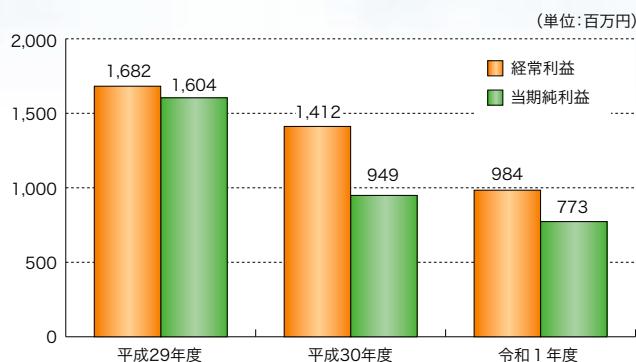
経常利益/当期純利益の推移

株式等売却損や貸出金償却等の臨時費用が前年に比べて増加した為、令和1年度の経常利益は前年比428百万円減少し、984百万円となりました。

この結果、当期純利益は前年比175百万円減少し、773百万円となりました。

経常利益 984百万円

当期純利益 773百万円



単体自己資本比率

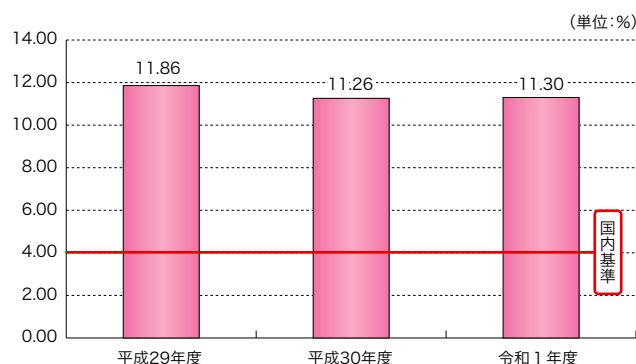
当金庫の令和1年度の単体自己資本比率は、11.30%となりました。

国内基準(4%)を大幅に上回る高い水準を維持しております。

※平成25年度末より、自己資本比率規制に関する金融庁告示第19号の一部改正に伴い、パーゼルⅢ基準により自己資本比率を算出しております。

→ 詳細は、57ページに記載しています。

自己資本比率 11.30%



不良債権比率

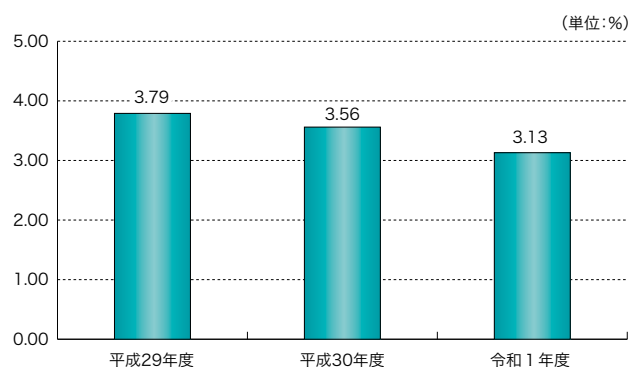
令和1年度の金融再生法に基づく不良債権額は、前年比11億90百万円減少し111億4百万円となりました。

この結果、当金庫の不良債権比率は前年比0.43ポイント低下し、3.13%となりました。

当金庫は、法令等に基づき厳格な償却・引当を行っております。引続き、健全な資産の維持に努めてまいります。

→ 詳細は、45ページに記載しています。

不良債権比率 3.13%



地域社会とひびしん

当金庫は、福岡県一円と山口県下関市、大分県中津市を事業区域として、地元の中小企業や住民の皆さまが会員となっており、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元の皆さまからお預りした大切な資金(預金積金)は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業や住民の皆さまとの強いネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、企業としての社会的責任(CSR)を自覚し、文化・環境・教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。



■有価証券 2,330億円

お預りしている資金の一部は、有価証券等で運用しております。運用にあたっては、公共債等を中心に安全な運用に努めております。

令和2年3月31日現在

大正13年	1月	有限責任信用組合八幡庶民金庫を設立
昭和18年	10月	有限責任信用組合八幡庶民金庫と有限責任八幡信用組合が合併し「有限責任八幡庶民信用組合」が誕生
昭和25年	4月	中小企業等協同組合法の施行に伴い信用協同組合に改組
昭和26年	10月	信用金庫法制定に伴い改組改称し「八幡市信用金庫」として発足
昭和38年	6月	北九州市発足により「北九州八幡信用金庫」と改称
昭和48年	1月	「八信同友会」（現・ひびしん同友会）発足
昭和60年	10月	「はっしん経営大学」（現・福岡ひびき経営大学）第1期講座開講
平成2年	4月	「八信ニューリーダー会」（現・ひびしんニューリーダー会）発足
平成6年	1月	「はっしん経営者賞」（現・福岡ひびき経営者賞）創設
平成13年	4月	「イングスクラブ」設立
	11月	北九州八幡信用金庫と若松信用金庫が合併し「福岡ひびき信用金庫」が誕生（理事長 古川育史 就任）
平成14年	9月	福岡ひびき信用金庫と直方信用金庫との2金庫間で合併基本協定書調印
	11月	福岡ひびき信用金庫・新北九州信用金庫・門司信用金庫・築上信用金庫・直方信用金庫の5金庫間で、合併基本協定書調印
平成15年	6月	高須支店新装オープン
	10月	福岡ひびき信用金庫・新北九州信用金庫・門司信用金庫・築上信用金庫・直方信用金庫が合併し、新生「福岡ひびき信用金庫」が誕生
平成16年	11月	荒生田支店新装オープン
平成17年	1月	小倉支店移転オープン
	2月	室町支店他2店舗を統合
	10月	三六支店他3店舗を統合
平成18年	1月	浜町支店他2店舗を統合
	4月	大里支店移転オープン
	6月	役員改選により 会長 古川育史 理事長 谷石喜一 就任
	10月	近衛橋支店他5店舗を統合
平成19年	2月	福岡支店新規開設
	10月	昭和町支店他2店舗を統合
平成20年	4月	門司港支店新装オープン
	5月	豊前支店新装オープン
	10月	本城東支店他1店舗を統合
平成21年	2月	「ひびしんビジネスフェア」初開催
	10月	総代改選し150名体制へ（新総代53名誕生） ひびしんニューリーダー会発足20周年記念大会開催 木町支店他2店舗を統合
	12月	行橋支店新装オープン
平成22年	2月	「ひびしん女性創業塾」初年度開講
平成23年	2月	曾根支店新装オープン
	12月	預・貸金総和1兆円達成
平成24年	5月	町上津役支店新装オープン
	6月	理事長 野村廣美 就任
	10月	守恒出張所新規開設
	11月	ひびしん同友会発足40周年記念式典開催
平成25年	6月	古川育史会長退任
	10月	5金庫合併10周年記念「飛鳥IIクルーズ」実施 当金庫及び大分みらい信金、西中国信金による「大規模災害発生時の相互支援に関する覚書」を締結 創立90周年・5金庫合併10周年記念式典開催
平成26年	2月	葛原湯川支店を統合
	4月	大蔵支店を代理店へ移行
	5月	福岡ひびき経営者賞20周年記念式典開催
	6月	千早支店新規開設
	12月	折尾支店新装オープン
平成27年	3月	東二島支店新装オープン
	6月	宮丸支店を統合
	9月	宇野支店を統合
平成28年	9月	ベイサイドプラザ若松出張所閉店
平成30年	1月	椎田支店・築城支店を統合し、築上町支店新装オープン
	5月	当金庫と磐田信用金庫の2金庫間で業務連携協定を締結
	8月	守恒出張所閉店
平成31年	4月	九州管内16金庫「飛鳥IIしんきんりレークルーズ」開催
令和1年	7月	黒原支店を移転し、城野支店として新装オープン
	9月	前田支店を統合
	10月	中央町支店、小石支店、原町支店をサテライト店舗へ移行 大蔵代理店、中央町支店、小石支店、天籟寺支店、原町支店の5店舗において「昼休み」時間を導入



令和1年7月8日城野支店オープン

役員

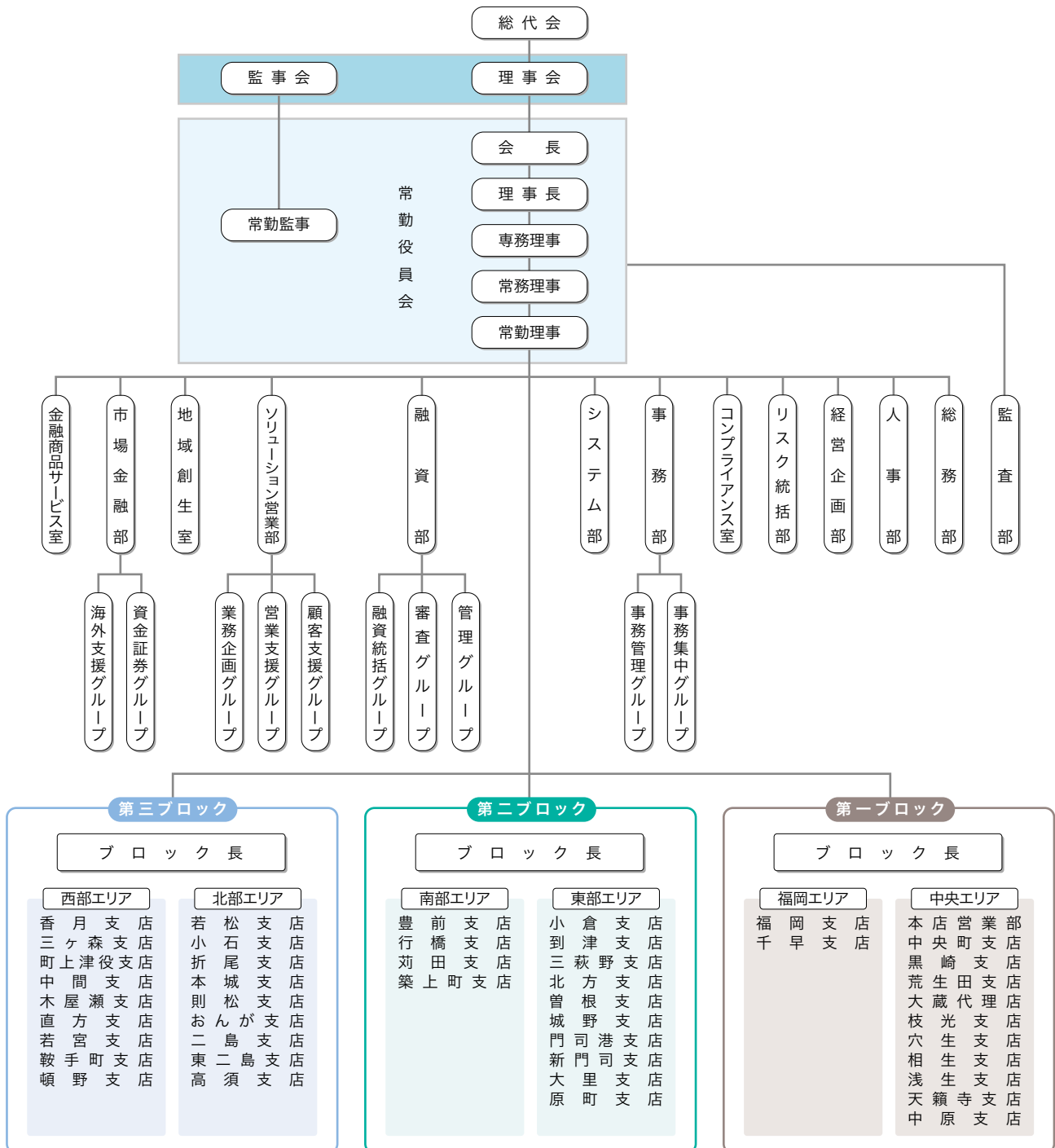
会長	野村 廣美
理事長	井倉 眞
専務理事	山下 伸二
専務理事	瀧口 秀一
常務理事	御手洗 範雄
常務理事	唐生 昌平
常勤理事	黒木 清輝
常勤理事	一江 哲哉
常勤理事	古賀 英明
常勤理事	福浦 鉄也

非常勤理事	垣迫 裕俊 (注1)
非常勤理事	井上 龍子 (注1)
常勤監事	石井 康雄
非常勤監事	奥村 勝美 (注2)
非常勤監事	鈴木 雅子 (注2)

(注1) 理事 垣迫 裕俊、井上 龍子は、信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事です。

(注2) 監事 奥村 勝美、鈴木 雅子は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

組織図



役員及び組織図は令和2年7月1日現在

トピックス

令和1年度において、お客さまのニーズにお応えするために、様々なサービス・取組みを実施しました。

～信用金庫の「つなぐ力」を発揮～

■ 開放特許のビジネスマッチング ～信用金庫の「つなぐ力」を発揮～

当金庫が事務局を担い、福岡県・佐賀県・長崎県に本店を置く13信用金庫が連携体となり、知的財産を活用した中小企業支援を行っています。「平成31年度中小企業知的財産活動支援事業費補助金」事業に採択されました。

具体的には、大手企業等が保有する開放特許等の知的財産を中小企業に紹介し、地域のお客さまの製品開発や技術力の高度化、高付加価値化を支援しています。本事業の第1弾として、福岡県内のお取引先が開放特許を活用し、新商品を開発しています。



■ 第5回しんきん合同商談会 ～地域力結集「探す」「つなぐ」「実らせる」～

九州北部（福岡県、佐賀県、長崎県）の13信用金庫合同で「第5回しんきん合同商談会」を開催いたしました。



～外部団体との連携～

■ 九州国際大学との連携

地域の課題に迅速かつ適切に対応し、人材育成と活力ある個性豊かな地域社会の形成・発展に寄与していくために、九州国際大学と「包括的地域連携に関する協定」を締結しました。「金庫役員による寄附講座の開講」「学生と役職員との交流」等、相互の密接な連携と協力により地域の発展に貢献してまいります。



～デジタル社会への対応に向けて～

お客様の利便性向上のため、ひびしんアプリの機能拡充を図り、「通帳レスサービス」を開始しました。また、お取引先のITツール導入および活用支援の一貫として、外部専門家と連携したセミナーも随時開催しています。

■ ひびしんアプリの拡充



■ デジタルスキル向上セミナー



■ SNS入門セミナー



～ひびしんのSDGsに対する取組み～

SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年9月の国連サミットで加盟する193ヶ国すべてが採択した2030年までの世界共通の開発目標です。持続可能な発展を実現するための17のゴールと169のターゲットが決められました。「誰一人取残さない」ことをスローガンに、開発途上国のみならず、先進国も取組むものとされています。

当金庫が主要展開する北九州市は2018年6月、国より「SDGs未来都市」に選定され、SDGs推進室を設置するなど取組みに力を入れています。



① ひびしんの「SDGs宣言」

大正13年、北九州の地に庶民金庫として産声を上げた福岡ひびき信用金庫は、一貫して地域の発展に取組んでまいりました。当金庫の「歴史」と「企業理念（1. 中小企業の健全な発展、2. 豊かな国民生活の実現、3. 地域社会繁栄への奉仕）」は「SDGs」への取組みそのものです。そこで当金庫は令和1年12月18日に「福岡ひびき信用金庫SDGs宣言」を公表しました。今後も地域経済の持続的発展に貢献するため、「企業理念」の実現に取組んでまいります。

② 北九州市と「SDGs達成に向けた協定」締結

福岡ひびき信用金庫は北九州市が産学官民で構成する団体「北九州SDGsクラブ」に加盟しています。令和2年1月16日には、北九州市と「SDGs達成に向けた協定」を締結しました。「SDGs達成」のために、地域の金融機関が行政と連携し、ワンストップで企業をサポートする協力体制を整備するのは、全国初の取組みです。

今後も、当金庫は地域中小企業のSDGs達成に向けた取組み支援にも力を入れていきます。



③ 部店長向け研修

「SDGs宣言」公表を機に部室店長は「SDGsカラーホイールバッジ」を着用しています。

また、金庫職員もSDGsについて理解を深め、お取引先からSDGsへの取組みなど相談にお答え出来るように、部室店長向け「SDGsセミナー」を開催しました。

お客様向けには令和2年1月27日に北九州SDGsクラブ事務局（北九州市・北九州商工会議所）主催で開催された「SDGs実践セミナー」をご案内させて頂きました。



福岡ひびき信用金庫「SDGs宣言」

福岡ひびき信用金庫の「SDGs」への取組みについて

1. 中小企業の健全な発展



- 優秀なシニア人材とのマッチング支援（新現役交流会）
- 新商品の開発支援（大企業開放特許活用による知財マッチング）
- 企業課題解決支援（M&A、事業承継）
- 販路拡大支援（ひびしんビジネスフェア、しんきん合同商談会、よい仕事おこしネットワーク）
- 新規創業支援（ひびしん女性創業塾）
- 異業種交流支援（ひびしん同友会）
- 若手経営者の資質向上支援（ひびしんニューリーダー会）
- 経営者の知識向上支援（福岡ひびき経営大学、各種セミナー）
- 光る経営者の発掘（福岡ひびき経営者賞）
- 地域企業と地域の学生とのマッチング支援（「ひびしん」地元企業就職応援事業）

2. 豊かな国民生活の実現



- 行政と連携し、地域の健康増進支援（北九州市民をがんから守るプロジェクト）
- 環境に負荷をかけない店舗作り、ペーパーレスの推進など環境に配慮
- 地域の環境美化活動（北九州市道路サポーター）
- 子育て応援商品の企画販売（子宝住宅ローン、教育ローンなど）
- お客様セミナーの開催（相続・遺言・空き家対策）

3. 地域社会繁栄への奉仕



- 地域企業の社会貢献支援（CSR私募債「輝く未来」の取り扱い）
- スポーツ活動、文化活動支援（ひびしんカップ少年野球大会、ひびしん野球教室、ひびしんカップソフトテニス大会、ひびしん俳句大賞、黒崎ひびしんホールネーミングライツ）
- 地域情報の発信（ひびしんだより、ひびしんぐるめぐりマップ）
- 地域のイベントに積極的に参加（門司みなと祭、若松みなと祭り、わっしょい百万夏祭りなど）
- 地域に貢献する人材の育成（北九州ゆめみらいワーク、産業見学ツアー、大学での寄附講座、北九州キャリア教育研究会）
- 年齢・性別に関係なく活躍できる企業風土作り（女性支店長、マネーコンシェルジュ）

中小企業の経営支援に関する取組み

① 中小企業の経営支援に関する取組み方針

当金庫では地域に密着した金融機関としての強みを生かし、中小企業の実態を把握、企業の経営課題解決に対する主体的な取組みに対し積極的に支援を行います。また、平成28年9月に金融庁が公表した「金融仲介機能のベンチマーク」をこれらの取組みを客観的に評価する重要な指標と位置付け、その数値を開示し、地域のお客様にご理解いただけるように努めてまいります。支援に当たっては、必要に応じて外部専門家・外部支援機関等と連携し企業の実態に合った支援を適切に行うように取り組んでいます。

なお、以下の表で「金融仲介機能のベンチマーク」に該当するものは **ベンチマーク** と表示しております。

② 中小企業の経営支援に関する態勢整備・取組みの状況

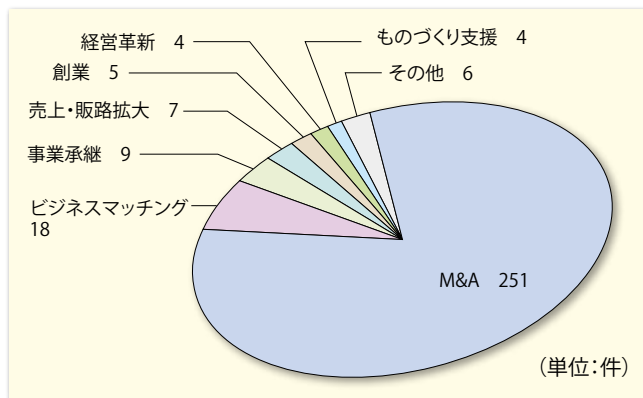
■ 全取引先数と地域の取引先数の推移、及び、地域企業数との比較（先数単体ベース） **ベンチマーク** (単位:先)

	平成31年3月期				令和2年3月期			
	地元(福岡県)		地元外(福岡県外)		地元(福岡県)		地元外(福岡県外)	
	北九州市	北九州市以外	大分県・山口県	その他	北九州市	北九州市以外	大分県・山口県	その他
全取引先数	8,458				8,561			
地域別の取引先数の推移	8,392		66		8,495		66	
	5,871	2,521	29	37	5,893	2,602	30	36

■ 令和1年度 支援課題別集計

中小企業からの経営相談は営業店と本部が連携して行います。また、高度専門的な課題の場合は、国の「中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業」による専門家派遣制度の活用、福岡県よろず支援拠点・北九州市中小企業支援センターとの連携により課題解決のお手伝いを致しました。

支援課題	先数	
	件数	構成比
M & A	251	82.6%
ビジネスマッチング	18	5.9%
事業承継	9	3.0%
売上・販路拡大	7	2.3%
創業	5	1.6%
経営革新	4	1.3%
ものづくり支援	4	1.3%
その他	6	2.0%
合計	304	100.0%



※M&Aには譲受・譲渡両方の相談を含む。

● 創業・新規事業開拓の支援

■ 当金庫が関与した創業件数 **ベンチマーク**

	平成31年3月期	令和2年3月期
創業関与件数	68件	123件

■ 創業支援先数 **ベンチマーク**

	平成31年3月期	令和2年3月期
①創業計画の策定支援	11先	5先
②創業期の取引先への融資(保証協会)	57先	118先

■ ひびしん女性創業塾

当金庫では、地元の創業・起業を目指すやる気のある女性を応援するため、「ひびしん女性創業塾」（以下「本創業塾という。」）を継続的に開催しています。本創業塾の特徴は、単なる学びの場で終わらないように、受講後のフォローにも注力し、修了生と一緒に創業に向けて事業プランを考え、事業に必要な資金のお手伝いをするなど金融機関だからこそ可能な創業支援を実現させ、受講生の意欲を創業という形に変えられるように努めています。



第11回目となる「ひびしん女性創業塾」（令和1年11月から12月の土曜日5日間コース）では、21名の方に受講いただき、受講後に8名の方が創業されました。尚、全11回の累計受講者は346名、創業者69名となっています。

■ ひびしん女性創業塾10周年記念事業

日経ビジネス2017年「最も影響のある次代を創る100人」にも選ばれた坪内知佳氏を講師に迎え、起業セミナーを行いました。



■ 女性創業塾受講生の創業状況（令和2年6月1日現在）

（単位：名）

	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	9期	10期	11期	1~11期計
受講者(a)	42	35	39	28	30	36	32	25	30	28	21	346
受講時点で既に創業済み(b)	6	2	6	2	3	7	5	4	6	4	2	47
受講後創業(c)	10	8	9	5	5	7	6	2	8	1	8	69
創業率(c/(a-b)×100)	27.8%	24.2%	27.3%	19.2%	18.5%	24.1%	22.2%	9.5%	33.3%	4.2%	42.1%	23.1%

● 成長・成熟段階における支援

■ 販路開拓支援を行った先数 **ベンチマーク**

	平成31年3月期	令和2年3月期
販路開拓支援を行った件数	地元	7件
	地元外	1件
	(うち海外)	(1件)

■ BASE株式会社と連携した販路開拓支援

ネットショップ出店に関心のある当金庫お取引先への支援として、BASE株式会社と連携し、ネットショップ出店にかかるサポートを実施しています。



■ 第5回しんきん合同商談会

令和1年11月7日(木) マリンメッセ福岡において、九州北部3県(福岡県、佐賀県、長崎県)の13信用金庫の力を結集した「第5回しんきん合同商談会～中小企業による商売繁盛の祭典～」を開催いたしました。

出展企業・団体415社・団体、バイヤー・応援企業23社の合計438社・団体(過去最多)が出展、当日は過去最多の6,421名にご来場頂きました。商談総件数は2,691件(うち成約件数619件)となりました。

第5回しんきん合同商談会結果(令和1年11月14日現在)

(単位:件)

商談総件数			個別商談			バイヤー商談		
件数	成約件数	成約率	件数	成約件数	成約率	件数	成約件数	成約率
2,691	619	23.0%	2,476	580	23.4%	215	39	18.1%

■ 「よい仕事おこしネットワーク」への参加

「よい仕事おこしネットワーク」は、全国の信用金庫が連携したビジネスマッチングサイトです。全国の信用金庫約7,400店舗のネットワークを活用し、お取引先の「販路拡大」や「様々な経営課題」を解決すべく、地域の枠を超えた「ビジネスマッチング」「事業支援仲介・解決」に取り組んでいます。



■ 事業者向けセミナーの開催

お取引先の生産性向上、複雑な経理処理の改善、多様な働き方に対する働き方改革等への対応の一助になるべく、当金庫では各種事業者向けセミナーを開催しています。令和1年6月19日に「楽～な経理のやり方」、令和1年12月6日には「働き方改革セミナー」、令和2年1月20日に「生産性向上セミナー」を開催いたしました。



楽～な経理のやり方セミナー



働き方改革セミナー



生産性向上セミナー

● 事業承継・経営改善・事業再生・業種転換等の支援

事業承継・経営改善・事業再生・業種転換等の支援業務には中小企業基盤整備機構、福岡県信用保証協会、北九州産業学術推進機構等の外部支援機関との連携強化に努め、実効性の高い支援の実現を目指して取り組んでいます。

■ 事業承継等の支援への取り組み **ベンチマーク**

	平成31年3月期	令和2年3月期
M & A 支援先数 (相談件数含む)	70先	251先
事業承継支援先数 (相談件数含む)	16先	9先

■ 外部と連携した本業支援への取り組み **ベンチマーク**

	平成31年3月期	令和2年3月期
外部専門家を活用して本業支援を行った取引先数	21先	7先
取引先の本業支援に関連する中小企業支援策の活用を支援した先数	37先	11先

■ 金融機関が貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況 **ベンチマーク**

	年 度		平成31年3月期		令和2年3月期	
	条件変更 総数	好調先 順調先 不調先	400先	18先 82先 300先	407先	19先 76先 312先
中小企業の条件変更先に係る経営改善計画の進捗状況						

■ 事業承継支援に向けた取組み

経営者の後継者不足を背景とした企業減少・雇用喪失が社会的問題となっています。当金庫では、お取引先の事業承継問題を解決するために、株式会社日本M&Aセンター・福岡県事業引継ぎ支援センター等の外部支援機関と連携し、様々なソリューションを提供しております。また、事業承継対策への意識を高めていただくために、株式会社日本M&Aセンター様主催の事業承継セミナーにお取引先を誘致させていただきました。



「新型コロナウイルス感染症」で影響を受けたお取引先への積極的な支援

新型コロナウイルス感染症拡大により、直接的・間接的な影響を受け、経営や生活に支障をきたしているお客様に幅広く対応するため、当金庫の本支店内に専用の相談窓口を設置しております。

■ 迅速な資金繰り支援

お取引先への迅速な資金繰り支援のため、福岡県の「新型コロナウイルス感染症対応資金」の受付対応だけでなく、当金庫独自の特別融資を設けるなど迅速な資金供給に努めています。また、既存融資の返済条件変更にかかるご相談も承っております。



■ 北九州テイクアウトマップとの連携

コロナ禍で大きな打撃を受けている飲食店への支援として、「北九州テイクアウトマップ」と連携し、お取引先のテイクアウト情報の拡散に努めています。



③ 多様な顧客ニーズに応える為の取組み

当金庫では中期経営計画に掲げた人材育成強化のため職員向けに様々な研修を実施しています。地域社会に愛され、地域に貢献出来る人材となるべく、日々研鑽に励んでいます。

■ 取引先の本業支援に関連する研修等の実施数、研修等への参加者数、資格取得者数 **ベンチマーク**

		平成31年3月期	令和2年3月期
取引先の本業支援に関連する研修等の実施数、研修等への参加者数、資格取得者数	研修実施回数	13回	34回
	参加者数	298名	315名
	資格取得者数	4名	14名

■ 新入職員の金融スキル向上研修



■ 渉外職員のソリューション営業能力強化

事業性評価をもとにした融資への取組み、課題解決型営業を実践していくために、外部講師との同行訪問による少人数制の実践型研修を行っています。



「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからのお借入や保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しています。また、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分検討するなど、適切な対応に努めています。

	平成30年3月期	平成31年3月期	令和2年3月期
新規に無保証で融資した件数	1,570件	1,319件	1,321件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	13.67%	9.25%	10.78%
保証契約を解除した件数	49件	38件	108件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数 (当金庫をメイン金融機関として実施したものに限り)	0件	0件	0件